

目 次

◇発行に当たって

後志教育研修センター 所長 平 正博

学習指導に関する調査・研究委員会「学習指導編」

【第1章】研究の概要

1	研究主題	学1-1
2	目指す子どもの姿	学1-2
4	研究仮説	学1-3
4	研究の視点	学1-3
5	研究計画	学1-3
6	研究構造図	学1-5

【第2章】研究の内容

I 視点1

1	「基礎的・基本的な知識および技能を明確にし、確かな習得を図る」学習活動と 「思考力・判断力・表現力の育成を図る」学習活動	学2-1
---	---	------

II 視点2

1	「課題意識（問題意識）」や「解決への見通し」を生む導入時の工夫	学2-3
2	「自分なりの考えを持つ」ための教師の支援策	学2-3
3	「仲間と学ぶ場」を意図的に設定する	学2-4

【第3章】各教科・領域における言語活動の充実に向けて

1	各教科	学3-1 ~ 学3-10
2	道 徳	学3-11
3	総 合	学3-12

【第4章】学習指導編のまとめ

	「学習指導に関する調査・研究」まとめ	学4-1
--	--------------------	------

学習指導に関する調査・研究委員会「校内研修編」

【第1章】研究の概要

1	研究主題	校1-1
2	研究の視点	校1-1
3	研究計画	校1-2
4	研究構造図	校1-3

【第2章】研究の内容

1	はじめに～これまでの研究の経過～	校2-1
2	研究の視点から	
	視点1 授業研究を核とした校内研修の在り方	校2-4
	視点2 マネジメントサイクルを機能させた校内研修体制の確立	校2-7

【第3章】実践事例

1	寿都町立潮路小学校の実践	校3-1
2	岩内町立岩内第一中学校の実践	校3-3
3	余市町立旭中学校の実践	校3-8

【第4章】ワークショップ型討議に関するQ&A

	ワークショップ型研究討議のQ&A	校4-1
--	------------------	------

【第5章】校内研修編のまとめ

	研究の総括	校5-1
--	-------	------

本年度の成果（検証授業を通して）

1	「学習指導」の検証授業（小5「算数」）	算1 ~ 算10
2	「学習指導」の検証授業（中1「社会」）	社1 ~ 社5
3	「校内研修」の検証授業（小4・5「国語」）	国1 ~ 国9
4	「校内研修」の検証授業（中2「数学」）	数1 ~ 数6
5	今年度のまとめ	ま-1

◇あ と が き

あ と が き

中学校においても昨年度から「新学習指導要領」が完全実施され、各学校ではとりわけ「確かな学力」を身につけさせるべく、「言語活動の充実」を重視した研究が進められていることと思います。

後志教育研修センター調査研究委員会では、「確かな学力」の向上のためには、個に応じた指導をより一層工夫しながら基礎・基本の確実な定着を図り、指導と一体化した評価を行っていくことはもちろん、応用・発展に向けた学習の場を設けて、一人一人の個性などに応じた子どもの力の伸長を目指すことも重要であると考えました。そこで、「確かな学力」の向上に向けて、創意・工夫を生かした取り組みをどう進めるかなどについて、実践的な研究を推進してきました。

今年度は全国研究所連盟が今後の方向性を模索する1年としたことから、北海道研究所連盟の動向に準じ、当研修センターの調査研究事業も単年計画にしました。また、これまで学習指導と校内研修の2つの委員会に分かれていたところを統合し、10名の所員が俯瞰的な思考を働かせ、両委員会で築き上げてきた理論や実践を深化・発展させられるよう努めてきました。特に今年度は所員が校内研究授業や事後研究協議に参加・協力する形を積極的に取り入れました。「言語活動」を明確に位置づけた授業、ワークショップ型の校内研修を様々な先生方と交流する中で発信できたことは、今後の調査研究の在り方を考える上でも大変大きな成果であったと考えます。管内各地から集めたこの調査研究を各学校の教育実践の中で、資料や指針、また研修の拠所として活用していただき、お役に立てることができれば幸いです。次年度は北海道研究所連盟の第15次共同研究（平成26年度～平成28年度）が「実践的指導力の向上に係る支援の在り方」となったことから、当研修センターの調査研究事業も授業改善や校内研究、一人一人の教員のライフステージに応じた研修支援の在り方等について研究していきます。

末筆になりましたが、本研究紀要作成にあたり、お力添えをいただきました研究委員の先生方、検証授業会場校及び授業協力の先生方、児童生徒の皆さん、教育関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成26年3月

研 究 委 員

学習指導に関する調査・研究委員会

研究委員長	古館 昭仁	(岩内町立岩内中央小学校 教諭)
副委員長	川本 真央	(余市町立黒川小学校 教諭)
委員	鹿毛 貴之	(二セコ町立二セコ小学校 教諭)
	梶原 大	(岩内町立岩内第一中学校 教諭)
	原田 益明	(黒松内町立黒松内小学校 教諭)
	齊藤 良樹	(寿都町立潮路小学校 教諭)
	阿久津 誠	(倶知安町立倶知安中学校 教諭)
	藤 直樹	(余市町立旭中学校 教諭)
	横澤 一	(倶知安町立西小学校 教諭)
	坂下 賛匠	(赤井川村立赤井川中学校 教諭)

研究協力員

担当指導主事	田口 範人	(北海道教育庁後志教育局義務教育指導班 指導主事)
--------	-------	---------------------------

研究紀要発行委員会

研修部長	駒場 秀剛	(倶知安町立倶知安中学校 主幹教諭)
研修講座主事	森山 将司	(倶知安町立倶知安中学校 教諭)
調査研究主事	新栄 裕	(倶知安町立倶知安小学校 教諭)

表紙の写真について

左

中学校の検証授業

平成25年7月12日

(中1社会)

協力校：倶知安町立倶知安中学校

授業者：金子 康幸 教諭

右

小学校の検証授業

平成25年9月18日

(小5算数)

協力校：余市町立黒川小学校

授業者：川本 真央 教諭